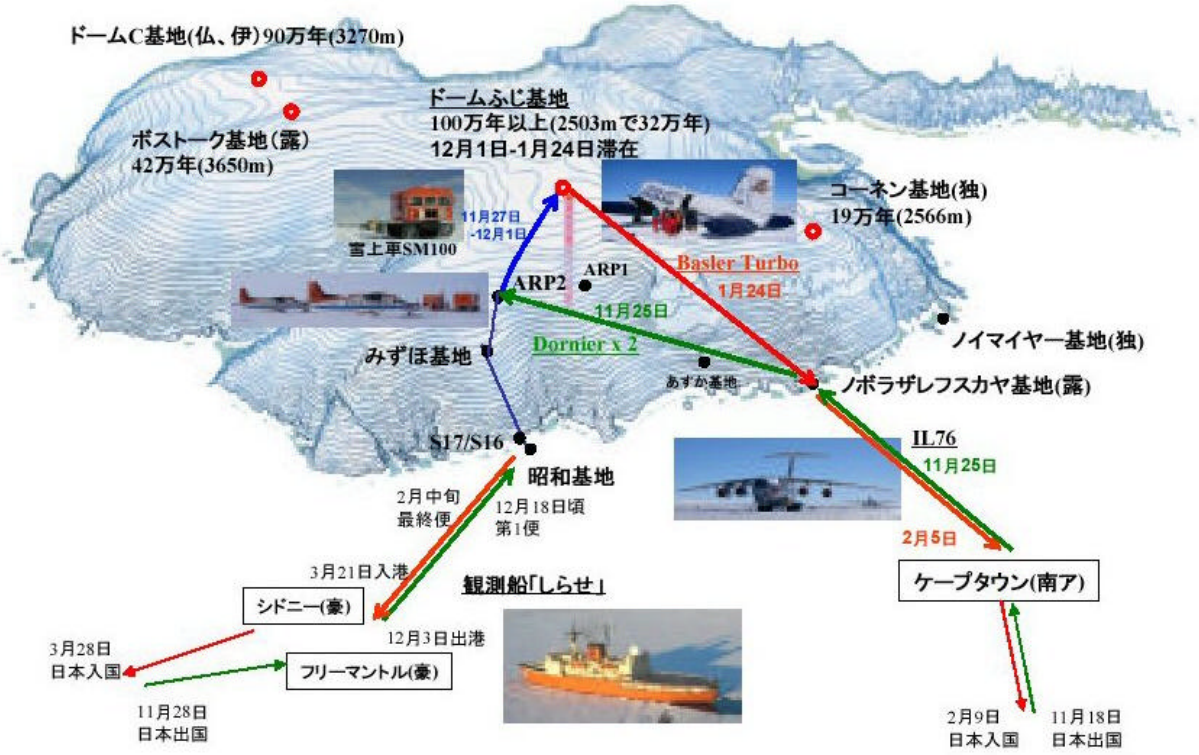
第二期ドームふじ観測計画-南極氷床深層掘削計画-（2004-05 夏シーズン）

Deep Ice Coring Project at Dome Fuji, Antarctica II (2004-05 summer season)

本山 秀明[1]; 藤井 理行[1]; 神山 孝吉[1]
Hideaki Motoyama[1]; Yoshiyuki Fujii[1]; Kokichi Kamiyama[1]

[1] 極地研
[1] NIPR

過去 100 万年の地球環境変動の復元と 10 万年周期の氷期‐間氷期サイクル発現の謎の解明のため、南極氷床内陸部にあるドームふじ基地において、3030m 深の氷床底部まで氷床深層掘削する計画が進行中である。その 2 年目にあたる 2004-05 年の夏シーズンに、362.31m 深から 1850.35m 深まで掘削した。1850m 深は 14.1 万年前に相当し、ちょうど現在から二つ前の氷期であるイリノイ氷期の末期にあたる．延べの掘削日数が 42 日間で掘削回数は 406 回、総コア長が 1488.08m、掘削 1 回あたりの平均コア長が 3.67m とおおむね順調に掘削することができた。来シーズンは氷床底部までの深層掘削を目指す。

航空機による南極への隊員派遣2年目